

保育所建て替え(民営化)方針について

1 建て替え(民営化)する保育所

① 高丘保育園 (昭和51年建築、築47年)

② 平野保育園 (昭和53年建築、築45年)

令和7年4月
新園開園を目指します

(参考)

松川保育園 (昭和54年建築、築44年)

→ 統廃合を含め検討継続



2 建て替え(民営化)する理由等

① 建物の老朽化への対応を早急に行うため

老朽化した施設の更新は、安全・安心の保育を維持するために喫緊の課題であるため、築年数の多い2園を建て替え(民営化)する保育所とします。

② 民間活力による保育の質の向上、多様性に対応するための選択肢を増やすため

公立保育園でも私立保育園でも、国の指針や基準により求められている保育内容は同じですが、オリジナリティのある保育、保育の選択肢が増え、既存園への波及効果も期待しています。

③ 民営化することで市の財政負担を軽減するため

財政負担(整備・運営)を軽減し、その分を新たな保育施策に充てることが可能になること、新たな保育課題の解決に取り組むことが可能となることなど、増加する保育課題にとって必要な取り組みと考えています。



3 建て替え方法(整備方法)

移転整備とします。(新たな用地に整備)

【理由】

現地整備(改築)では、安全面や費用、児童や職員への負担が大きいため、負担軽減等の観点から、移転用地に新園舎を建設して移転する方法とします。

【移転用地の選定等】

- ・移転先用地は、民間事業者が選定し、購入または賃貸借とします。
- ・移転用地において民間事業者が園舎の整備を行います。

【補助金等】

国の保育所等整備交付金(国1/2、市1/4、事業者1/4)の他に市独自の補助金を設け、民営化に伴う初期の私立保育所運営に関し保育内容の充実、保育行政の円滑な推進及び児童福祉の増進に資するため、保育所整備に係る経費の一部に対して補助金を交付します。



4 施設定員(予定)

高丘、平野保育園の施設定員を次のとおり変更します。

	現施設定員	予定施設定員	R5.4園児数
高丘保育園	140	90 (▲50)	74
平野保育園	210	160 (▲50)	152
計	350	250(▲100)	226

今後、子ども・子育て会議での意見聴取、保育所等運営審議会において保育所整備計画の諮問答申を受けて決定します。



5 主なスケジュール(案)

高丘、平野保育園の整備を並行して行う。(同時進行)

時期	内容
令和5年7月	子ども・子育て会議、保育所等運営審議会での意見聴取
令和5年7月下旬～	保護者、市民説明会
～令和5年9月	保育所整備計画の改定(整備園、定員等) (保育所等運営審議会、子ども・子育て会議)
令和5年10月～ 令和6年3月	民間事業者の公募、選定 ※公募の際に民間事業者からの応募が無い場合、再公募する予定(時期未定)です。
令和6年3月～	民間事業者と協議開始 三者協議会の設置(随時開催) ※保護者、市、民間事業者
令和6年3月～	協定締結、保育所等整備交付金事前協議、建設に係る説明会等
令和6年6月～ 令和7年3月	新園舎整備
令和6年4月～	引継ぎ(R6.4～)・共同保育(R6.10～)
令和7年4月1日	新園舎へ移転、運営移行(民営化)



6 これまでの主な経過

時期	内容
令和2年7～8月	保育所のあり方に関するアンケート
令和3年2月3日	中野市保育所あり方検討懇話会 提言
令和3年8月	中野市保育所整備計画(改定:令和3～7年度)
令和4年4月1日	旧長丘保育園廃止、旧豊井・永田保育園統合(とよた保育園)
令和4年7月	保育所民営化ガイドブックの配布(保護者)
令和4年11月	中野市公立保育所民営化ガイドライン策定



～以下参考資料～

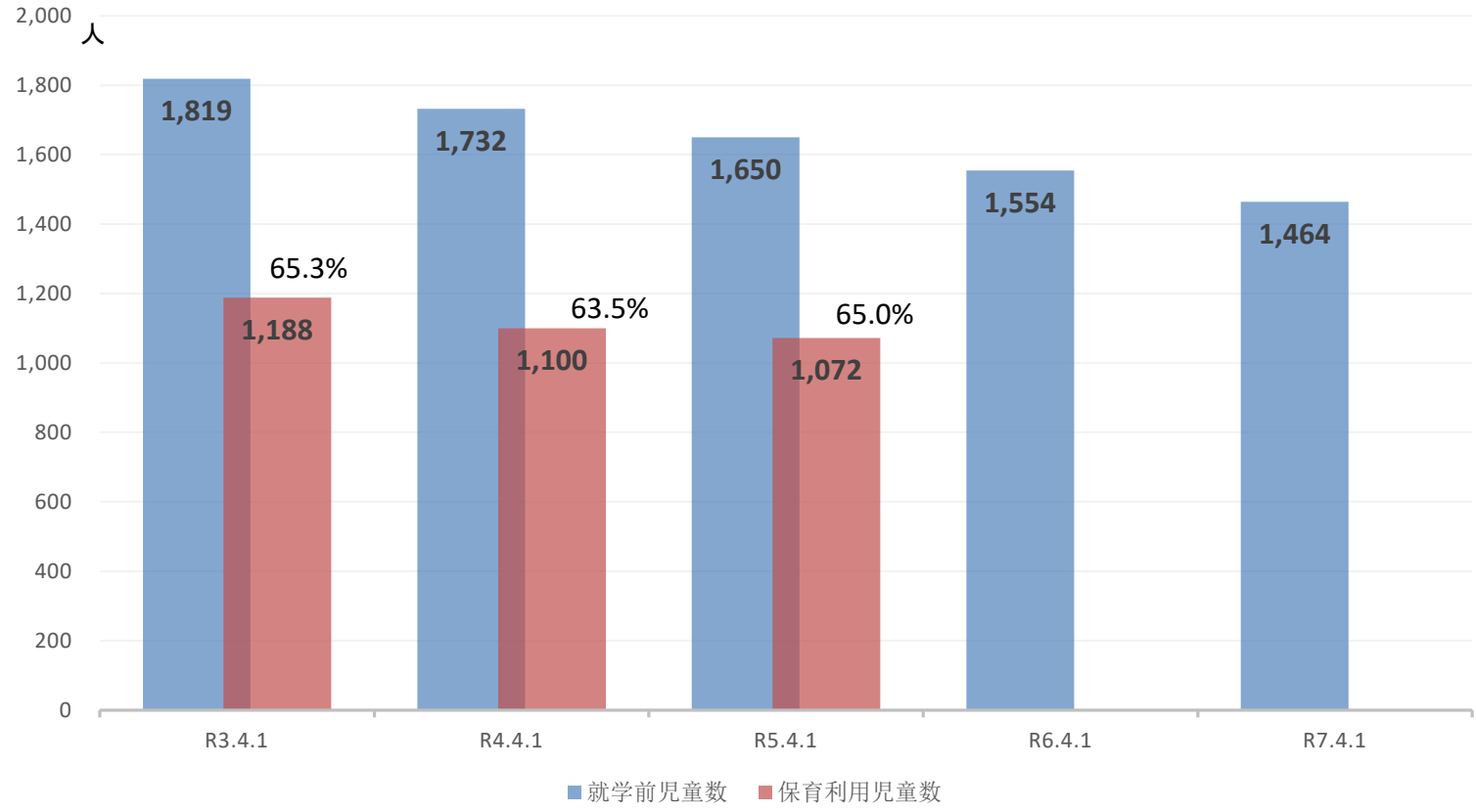
就学前児童数及び保育利用児童数等(新子育て安心プラン実施計画)

	年齢	実績			見込・計画	
		R3.4.1	R4.4.1	R5.4.1	R6.4.1	R7.4.1
就学前児童数	0歳児	251	236	222	204	187
	1・2歳児	570	533	503	472	443
	3歳以上児	998	963	925	878	834
	合計	1,819	1,732	1,650	1,554	1,464
申込者数	0歳児	16	14	18	18	18
	1・2歳児	354	311	308	292	277
	3歳以上児	824	775	746	716	687
	合計	1,194	1,100	1,072	1,026	982
申込率	0歳児	6.4%	5.9%	8.1%	8.8%	9.6%
	1・2歳児	62.1%	58.3%	61.2%	61.9%	62.5%
	3歳以上児	82.6%	80.5%	80.6%	81.5%	82.4%
	合計	65.6%	63.5%	65.0%	66.0%	67.1%
保育利用児童数	0歳児	16	14	18		
	1・2歳児	348	311	308		
	3歳以上児	824	775	746		
	合計	1,188	1,100	1,072		



【グラフ】就学前児童数及び保育利用児童数等(新子育て安心プラン実施計画)

就学前児童数は、過去5年平均で前年比92%となっており、少子化が進んでいます。保育利用者も同様に年々減少していますが、利用率は横ばい状態からやや高くなっています。



現保育所の概要

高丘保育園は、昭和51年建築で築年数が47年と最も古い施設となっています。

No	園名	定員	建築年	築年	構造	階数	床面積	敷地面積	備考
1	平野保育園	210	S53	45	鉄骨造	1	1,462.14	5,324.52	一部2階(H13建築)
2	松川保育園	160	S54	44	鉄骨造	1	1,349.46	3,153.88	
3	高丘保育園	140	S51	47	軽量鉄骨造	1	1,048.52	3,299.27	※最も築年数が古い
4	たかやしろ保育園	120	H14	21	鉄骨造	1	1,497.25	9,199.00	
5	さくら保育園	120	H25	10	木造	1	1,612.70	8,727.08	
6	ひまわり保育園	100	H27	8	鉄骨造	2	1,432.64	3,787.35	
7	みなみ保育園	150	H29	6	鉄骨造	1	1,639.00	4,970.06	
8	ひらおか保育園	150	R2	3	木造一部鉄骨造	1	1,658.35	4,598.47	
9	とよた保育園	120	H5	30	鉄骨造	1	930.70	4,376.96	R3改修



No	公立 私立	施設種別	園名	施設定員 (人)	クラス数 (R5)	園児数(人)(各年4月1日現在)				
						R5	R4	R3	R2	H31
1	公	保育所	平野保育園	210	10	152	170	168	179	171
2	公	保育所	松川保育園	160	8	104	111	123	135	141
3	公	保育所	高丘保育園	140	5	74	85	95	95	97
-	公	保育所	長丘保育園(80人)	-	-	-	-	20	30	37
4	公	保育所	たかやしろ保育園	120	6	78	78	77	78	73
-	公	保育所	永田保育園(60人)	-	-	-	-	16	25	31
-	公	保育所	豊井保育園(120人)	-	-	-	-	37	43	40
5	公	保育所	さくら保育園	120	7	106	95	98	89	89
6	公	保育所	ひまわり保育園	100	7	86	85	117	119	118
7	公	保育所	みなみ保育園	150	7	88	95	118	121	121
8	公	保育所	ひらおか保育園	150	7	108	120	93	87	106
9	公	保育所	とよた保育園	120	6	57	51	-	-	-
10	私	保育所	ひよこ保育園	90	-	89	78	88	80	97
11	私	小規模保育事業	中野みらいく保育園	19	-	14	15	14	10	-
12	私	小規模保育事業	ニチイキッズ中野保育園	19	-	18	16	15	8	-
13	私	認定こども園	認定こども園中野マリア幼稚園※1	170	-	165	171	175	179	171
14	私	幼稚園	中野中央幼稚園	230	-	88	91	94	83	89
				1,798	63	1,227	1,261	1,348	1,361	1,381



	園児数(人)(各年4月1日現在)				
	R5	R4	R3	R2	H31
公立	853	890	962	1,001	1,024
私立	374	371	386	360	357
公立割合	70%	71%	71%	74%	74%

※1 定員170人のうち1号(教育)60人、2・3号(保育)110人

※ 小規模保育事業は、0～2歳児を対象とした定員6～19人の比較的小さな施設であり、規模の特性を生かしたきめ細かな保育を実施する施設です。

※ 認定こども園は、教育と保育を一体的に行う施設で、いわば幼稚園と保育園の両方の良さを併せ持つ施設です。



各保育所等の入所児童の居住地区割合（幼稚園除く）

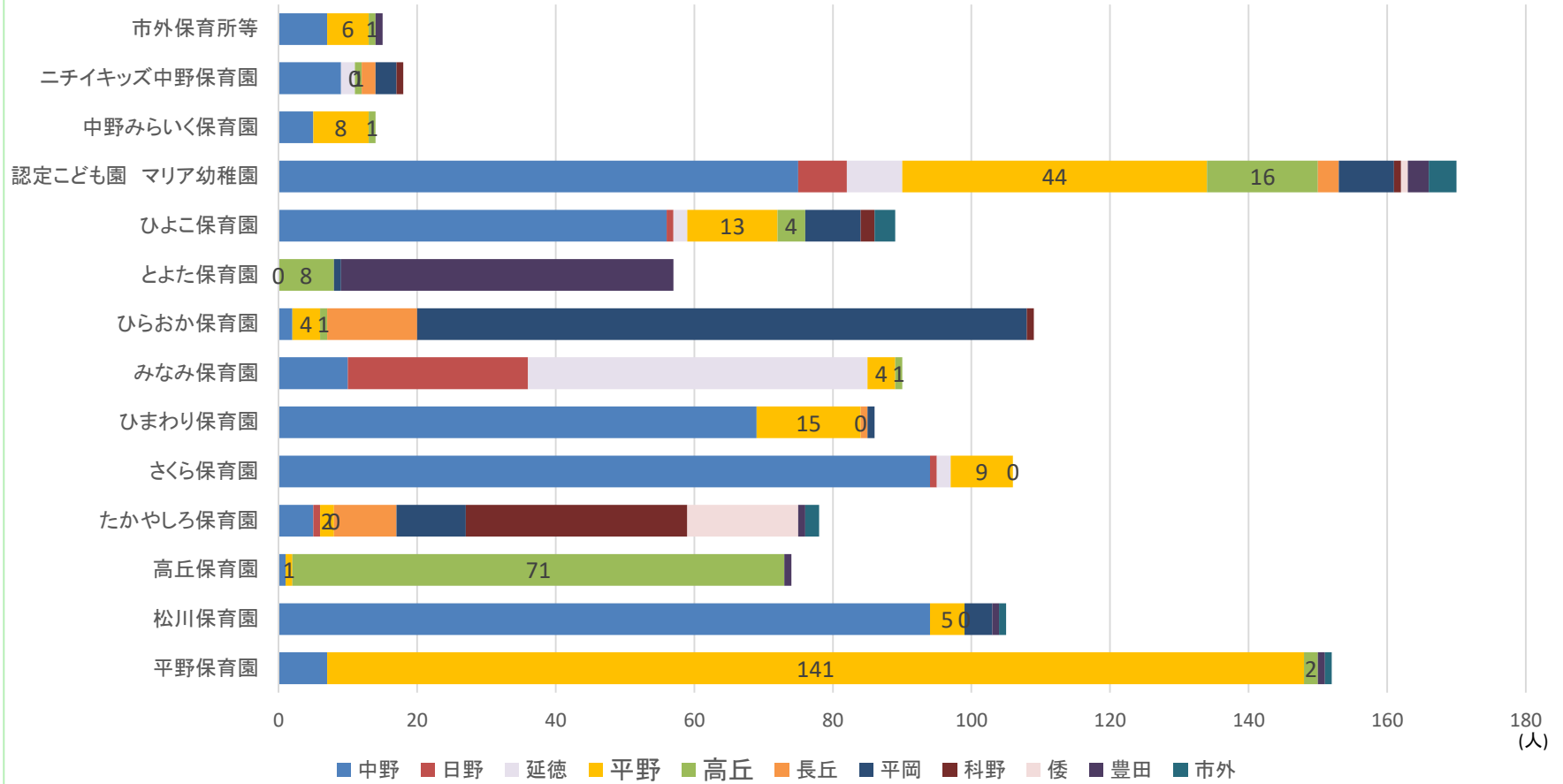
	園 児 数														
	合計	地元	地元率	中野	日野	延徳	平野	高丘	長丘	平岡	科野	倭	豊田	市外	
平野保育園	152	141	93%	7	0	0	141	2	0	0	0	0	1	1	
松川保育園	105	94	90%	94	0	0	5	0	0	4	0	0	1	1	
高丘保育園	74	71	96%	1	0	0	1	71	0	0	0	0	1	0	
たかやしろ保育園	78	48	62%	5	1	0	2	0	9	10	32	16	1	2	
さくら保育園	106	94	89%	94	1	2	9	0	0	0	0	0	0	0	
ひまわり保育園	86	69	80%	69	0	0	15	0	1	1	0	0	0	0	
みなみ保育園	90	75	83%	10	26	49	4	1	0	0	0	0	0	0	
ひらおか保育園	109	101	93%	2	0	0	4	1	13	88	1	0	0	0	
とよた保育園	57	48	84%	0	0	0	0	8	0	1	0	0	48	0	
ひよこ保育園	89	56	63%	56	1	2	13	4	0	8	2	0	0	3	
認定こども園 マリア幼稚園	170	75	44%	75	7	8	44	16	3	8	1	1	3	4	
中野みらいく保育園	14	5	36%	5	0	0	8	1	0	0	0	0	0	0	
ニチイキッズ中野保育園	18	9	50%	9	0	2	0	1	2	3	1	0	0	0	
市外	15			7	0	0	6	1	0	0	0	0	1	0	
(合計)	1,163			434	36	63	252	106	28	123	37	17	56	11	

各地区の公立私立割合（幼稚園除く）

	合計	中野	日野	延徳	平野	高丘	長丘	平岡	科野	倭	豊田
公立	75.0%	66.0%	77.8%	81.0%	73.6%	79.0%	82.1%	84.6%	89.2%	94.1%	94.5%
私立	25.0%	34.0%	22.2%	19.0%	26.4%	21.0%	17.9%	15.4%	10.8%	5.9%	5.5%



【グラフ】各保育所等の入所児童の居住地区割合



(平野・高丘保育園の園児人数表示)



県下19市 公営保育所等(保育所・認定こども園・幼稚園)割合

平成24年と令和4年(10年差)を比較すると、公営の割合が減少傾向にあり、民営化が進んでいます。

市名	人口(R4.4.1)		公立保育園割合(R4.4)			公立保育園等割合(R4.4)			公立保育園等割合(H24.4)		
	総人口	0~5歳人口	保育所数		割合	保育所等数		割合	保育所等数		割合
			公立	私立		公立	私立		公立	私立	
長野市	369,652	15,651	30	38	44.1%	32	73	30.5%	43	69	38.4%
松本市	236,345	10,594	42	5	89.4%	45	24	65.2%	48	21	69.6%
上田市	154,134	6,338	29	1	96.7%	30	20	60.0%	33	21	61.1%
岡谷市	47,116	1,771	12	2	85.7%	12	6	66.7%	14	6	70.0%
飯田市	97,750	4,138	0	15	0.0%	16	24	40.0%	21	24	46.7%
諏訪市	48,419	2,019	13	2	86.7%	13	3	81.3%	14	3	82.4%
須坂市	49,910	2,061	10	5	66.7%	10	9	52.6%	10	11	47.6%
小諸市	41,641	1,701	6	1	85.7%	6	7	46.2%	7	7	50.0%
伊那市	66,261	2,716	19	2	90.5%	19	5	79.2%	21	6	77.8%
駒ヶ根市	32,135	1,331	8	2	80.0%	10	3	76.9%	10	3	76.9%
中野市	43,245	1,732	9	1	90.0%	9	3	75.0%	11	3	78.6%
大町市	26,237	797	7	0	100.0%	7	3	70.0%	8	3	72.7%
飯山市	19,910	644	7	1	87.5%	7	2	77.8%	9	2	81.8%
茅野市	54,789	2,325	14	2	87.5%	14	5	73.7%	17	2	89.5%
塩尻市	66,182	2,905	15	1	93.8%	15	5	75.0%	16	5	76.2%
佐久市	98,317	4,540	15	9	62.5%	15	15	50.0%	19	14	57.6%
千曲市	59,606	2,464	11	4	73.3%	11	6	64.7%	12	6	66.7%
東御市	29,621	1,252	5	1	83.3%	5	2	71.4%	7	2	77.8%
安曇野市	96,659	3,940	0	1	0.0%	19	3	86.4%	18	2	90.0%
(平均)					73.9%			65.4%			69.0%

※飯田市、安曇野市の公立保育施設は、認定こども園・幼稚園です。

資料: 19市保育所担当課長会議資料



全国の公営保育所等割合

全国平均では、公営保育所等の割合は約3割となっていますが、長野県は、約6割で、公営率は全国1位となっています。

長野県では、いわゆる「公立神話」があり、民営化されない地域でしたが、国の制度変更や多様性に対応するためなどで、近年は公営割合が小さくなっています。

都道府県名	2015	2020	2021	2021順位
長野県	80.7	77.3	63.6	1
三重県	59.6	52.0	53.6	2
岐阜県	64.1	57.9	53.3	3
福島県	61.9	54.2	52.9	4
香川県	59.2	56.1	50.9	5
(中略)				
佐賀県	24.0	17.8	8.9	43
鹿児島県	18.3	11.7	8.8	44
長崎県	13.2	10.3	7.4	45
宮崎県	23.8	12.8	7.3	46
青森県	8.8	4.1	0.4	47
平均	46.2	38.4	30.7	

資料: 社会生活統計指標—都道府県の指標2023



中野市公立保育所民営化ガイドライン(R4.11)のポイント

- ① 民営化の方式
「民設民営」を基本とします。
- ② 民営化の保育所
老朽化した施設の更新は、安全・安心の保育を維持するために喫緊の課題であるため、重点的に取り組みます。

⇒高丘・平野・松川保育園は最も老朽化(築年数が多い)してるため、重点的に取り組む方向です。
- ③ 民営化の実施時期
できるだけ早い時期に公表します。
- ④ 事業者の選定方法
事業の提案内容を審査する「プロポーザル(企画提案)方式」により行います。
安定的かつ持続的な保育の提供や、よりよい保育の実現が可能である事業者を選定します。
- ⑤ 引継ぎ保育の実施
保育環境の変化による児童への影響を最小限にするための引継ぎ保育を実施します。